選挙にいこう！

ひらいてつなぐ

木津川市
つうしん

木津川市の
新しい時代
をひらく会

第１号 2019.2.21 発行

4/21 投開票　木津川市市長選挙

くれはまゆみさんに聞いてみました。

4年前の任期満了に伴う木津川市長選で、惜しくも敗れたくれはまゆみさん。その後一市民として木津川市で暮らして来られました。再びチャレンジするかどうか悩んでいたくれはさんですが、ある時これはやはりこのままではいけないと強く思ったそうです。なぜ再チャレンジを決めたのか？いくつかの質問に答えていただきました。

ーなぜ再度、挑戦しようと思われたのですか？

2年ほど前からでしょうか、それまでよりも一段とはっきり多くの切り捨て政策が発表され愕然としました。リサイクルセンターの廃止、加茂プラネタリウムの廃止、一方的な市職員の給与カットの決定、最近では移動図書館いずみ号の廃止など、どれも発表される前に関係者に知らせること無く、決定してからの議会での発表でした。市民の声を聞く気が全く無いのだと感じました。これはこのまま現市長の再選を認めてはいけないと強く感じ、60歳と言う自身の年齢も感じましたが立候補を決意するには十分の問題でした。

ーくれはさんが考える市民の声が反映されるまちづくりとはどういったものですか？

今の時代 右肩あがりの頃の様になんでも出来ますばかり言えないのは、どこの自治体でも同じだと思います。けれどそんな中でも ただ予算カットし、廃止政策ばかりを進めていては、明るい未来は見えないと思うのです。現在木津川市では長年予算を削って貯めてきた自由に使える市の基金がなんと40億円もあります。そんな市町村は京都で他にどこにもありません。それは単純に節約して貯めた生きたお金なんでしょうか？わたしはそうは思いません。市民にとって必要なサービスをせず、ただ支出を抑える事だけに専念した結果だと思います。市民が納めた税金は、市民が快適に文化的に暮らしていくためのサービスに使うべき大切なお金だと思うのです。もちろん災害などに備えて貯蓄は必要です。バランスが重要だと思います。

ー今回の選挙では何が変わると思いますか？

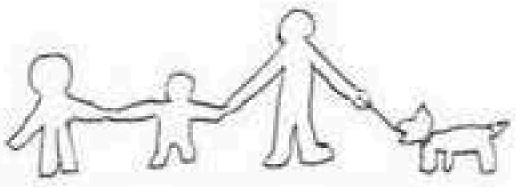
木津川市にも新しいまちが増えてきました。歴史のあるまち、新しいまち色々なまちが集まって木津川市になりました。わたしは高の原地域の住民ですがこの街に暮らして30年が経ちました。そして12年間の議員活動を通じて実にここは多様で豊かな地域性のある市なんだと気付かされました。そしてこの4年間議会を離れて過ごした時期を経て今更に強く思うのです。

そろそろ次の時代に。代々この地でお住まいの方も新しく加わった市民の方々も、ここに暮らすみんなの声を取り入れた豊かな新しい時代をひらく時期が来たと感じます。みなさんと一緒にどこにもない まったくあたらしい木津川市を作ってみたいと思っています。

くれはさんが市長になったらまず、取り組みたいことは？ 詳しくは裏面を！

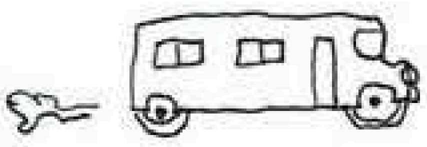
詳しくは裏面を！

1. 子育てと教育！



木津川市ってほんとに子育てしやすい？
そんな声に答えて、本気の子育て政策に取り組みます！

2. 木津川市のバス問題！



つかえないバスから、みんなが使いやすいバスに！
市民の声を生かした路線づくりと料金の改訂

3. ワクワク！そして安心して暮らせるまちづくり！

ひとりひとりを大切にした、小さなつぶやきが届く市政に。
こどもたちが、高齢者が、安心しおだやかに、そしてわくわくするまちにします！

くれはまゆみの
LINE@
登録してみてね！

くれはまゆみ
@fjt1283h

※「ひらいてつなぐ木津川市つうしん」は、木津川市のあたらしい時代をひらく会が、木津川市長選に立候補を表明したくれはまゆみさんの政策、それを支える声などを紹介します

引き続き　くれはまゆみさんに聞いてみました。

くれはまゆみさんの考える 1．子育てと教育の政策って？

木津川市は若い世代の人口が増加している全国でも珍しい市です。これから１０年２０年先を見越して、この若い世代に十分力を発揮して貰える環境作りが大切だと思います。具体的には、

木津川市こども宝課を、名前にふさわしいあたたかな課に！

母子手帳の発行時、転入受付時に、子育てママ相談チームの紹介 BOOK を配布

保育園の統廃合を地元住民との協議の中で見直す！

働くパパママの応援チーム、政策の充実

障がい児・者発達支援プログラムの作成と実行

教職員の負担軽減　働き方改革　修学旅行費助成の復活

図書館などの市民の知る場　学ぶ場を増やす

市民の楽しみ移動図書館　ミニいずみ号の運行を！

城山台の教育環境問題に取り組む

急増する児童数と教室数、危険な通学路などの問題を住民と話し合う場をもちたい

放課後児童クラブを地域で見守る場に

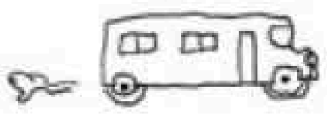
シルバー人材の活用

市内の豊富な食材をいかした食育プロジェクト

給食ゆっくり美味しく食べてほしいな！

木津川市でしか出来ない自然の中での豊かな子育てを！知識だけではない五感がいきいき育つそんな取り組みを！この混沌とした時代だからこそ大地に足つけて、生きていく力を身につけてほしい。そして子どもたちが大人になった時、このまちで育ってよかったなと思ってもらえるような木津川市に！それがくれはの考える子育てと教育の根っこの部分です。

2．バス問題の政策って？



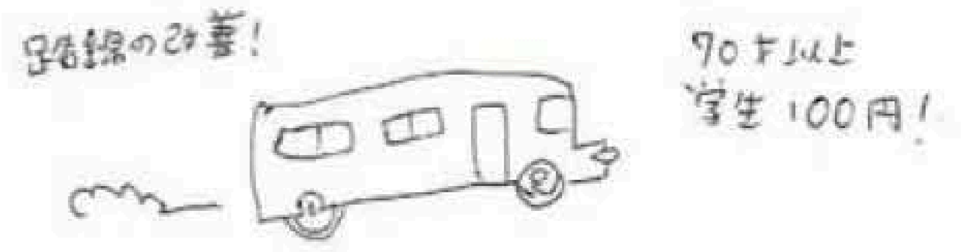
車が交通の要となっているわが市では、バスはこれから更に重要度が高くなると思います。公共交通が充実すると、年配の方のお出かけが増え結果的に医療費が抑制されることが様々な統計で確認されています。また子どもさんの送迎で時間に制限があるため希望の仕事に就けない親御さんも多く居られると聞きます。
病院に、学校に、遊びに、気分転換に。豊かなバス網は運転が難しい世代の暮らしを確実に豊かにするものだと言えます。
現在その実現に向けて請願の署名活動も行っています。

コミバス料金、現在 200 円を　学生と 70 才以上は 100 円に！

コミュニティバスの使いやすい路線の実現を

バス路線見直しチーム　（協議会）をきちんと機能する会にしていく

■バス請願の署名について詳しくは表面事務所までお問合せください。■



3．ワクワクそして安心して暮らせるまちづくりってどんな政策？

予算がなくても、知恵を生かす気があれば、沢山の問題が解決できると思います。
そして、日々の生活を支える重要な政策決定もきちんと情報を開示し、共有する事がまずははじめの一歩だと思います。

公民館など集会所の不足、使いにくさを改善

人が気軽に集まれる場所をもっと沢山つくる事で市民が活動しやすくなる！（市内の空き物件、学童保育教室の未使用時間の活用など既存スペースを生かして補うなど）

不要不急な山林伐採はやめてやまなみの保全

みどり豊かでなんども遊びに行きたくなる公園づくり、街路樹のゆたかな街並みを目指す

各地方自治体レベルで判断できる問題をきちんと公開してから決定する。

水道民営化、除染土の公共工事埋め立て使用、保育園統廃合、などの問題

わたしたちは、くれはまゆみさんを応援しています。

e 未来の会さんより
「女性として、母親として、政治家として尊敬する先輩であるくれはさんを心から応援しています。」

京都生活者ネットワークより
「市民が市政を使いこなすまちに。くれはさんに期待します！」

市民の会さんより
「市民が主役！みんなの声が輝く新しい市政を！」

木津川市未来会議 山本しのぶさんより
「こどもたちの声女性の声に真剣に耳を傾けてくれるくれはさんを応援します！」

わたしたちも応援しています！　以下順不同　尾崎一彦（大阪工業大学名誉教授）　天野恵子　天野照雄　山守和良　綿崎五郎　中島光枝子　大山順子　井上君子　早川久代　西　幸子　三木泰子 小島優子 伊藤めぐみ（けんちくや）今吉ほなみ（デザイナー）増田繁男（社労士・発達障がい児の父）増田優子（発達障がい児の母）島中千住代（二児の母）奥出康子（やすたろうの母）中村 衣見（デザイナー）大西 みき（アパレル）藤岡純子（保育士）大窪成子　須田友佳（子育てママ）神野勝三郎　藤村悦郎（ボーイスカウトリーダー）中島正（大学講師）富岡茂（自由人）　武田真由美（家庭的保育園園長）式田夫妻（会社員）天野祐介（あんま指圧師）藤田忠雄　酒田えり子（派遣社員）酒田慎吾（パフォーマー）

事務所／　木津川市山城町上狛東下 16-10　TEL・FAX　0774-86-5105　kizumirai@gmail.com

ひらく会では、お手伝いしてくださるボランティア募集中！そして運営のための寄付金のお願いをしています。ゆうちょ００９５０－４－２０２０５７　宜しくお願いします。